

昨年度の第三者委員会における 意見と対応方針

令和 2 年 3 月 5 日

農 林 水 産 省

昨年度の第三者委員会における意見と対応方針（施策評価の本文に係る意見を除く）

意見	委員名	対応方針(案)
水路や農道などを保全管理することによる農業利用以外での波及効果について、次年度以降に、多面的機能について調査を行う際の調査項目として入れてほしい。	水谷委員	水路や農道自体が持つ多面的機能について、来年度以降に行うアンケート調査等で把握する。 【資料5 p.5】
SDGsの一つに「15 陸の豊かさを守ろう」という項目があり、多面的機能支払と趣旨が一致しているという印象を持っている。SDGsへの貢献、連携という辺りをアピールすれば、本交付金のことを世の中に知ってもらう助けになる。	佐々木委員	SDGsと本交付金の取組との関わりについて整理し、その内容について積極的にPRを行う。 【資料5 p.8】
SDGsについて、役所側でこのように解釈できるというよりも、現場の人達がSDGsのことを理解して、この部分で貢献するんだという活動に結び付いたときに初めて評価できる。今後、多面支払の活動にどのように組み込めるのか研究してほしい。	中嶋座長	
ESG投資の基準についても研究をお願いしたい。	中嶋座長	ESG投資の考え方を踏まえ、活動組織等の評価を行う仕組みについて検討を行う。 【資料5 p.10】
本交付金による効果を国民、社会に向けて強くアピールしてほしい。効果的なアピールの仕方として、コウノトリが全ての都道府県に飛来しているという話はすごく分かり易く皆の共感に繋がる。農業に関わるイベントに限らずいろいろな機会を捉えてアピールしてほしい。	河野委員	活動組織等を対象としたイベントだけではなく消費者向けイベントへ出展するなどいろいろな機会を通してPRを行う。 【資料6 p.1】
多面的機能支払交付金は、農村を守るために意義のある交付金だと思うが、あまり知られていないので、もっとPRする必要がある。「多面的機能支払」に分かり易いタイトルを付けるなど、若者や女性など幅広い人達が理解しやすいイメージを作っていく必要がある。	佐々木委員	多面的機能支払交付金について積極的にPRを行うことに加えて、親しみやすい愛称の募集を行う。 【資料6 p.1、3】
活動事例集は非常に分かり易いと思うが、取組内容を見ると若干無機質な感じがする。例えば、リーダーなど「人」にスポットを当てた紹介をしていくと、もう少しPRになる可能性がある。	佐々木委員	今年度から、活動組織のリーダーや女性役員にインタビューを行い、そのインタビュー記事をメールマガジンに掲載し配信する。 【資料6 p.5】